（別紙）

令和８年 12 月定例会議　一般質問

９番議員　佐々木　昇

# ふるさとゾーンの振興策は

令和８年３月に改定された「かながわのみちづくり計画」において、都市計画道路山北開成小田原線が「足柄地域の交流連携を支える道路」として、「将来に向けて検討が必要な道路」に位置付けられた。山北開成小田原線は、本町のまちづくりを支える重要な道路であり、ふるさとゾーンへのアクセス向上や地域間の交流促進にもつながることが期待される。今後、計画道路整備を見据えた計画的なまちづくりが重要となる。

現在、本町では「賑わいと活力あるまちづくり」に向け、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業や足柄産業集積ビレッジ構想、（仮称）南部第３地区の市街地整備事業などの基盤整備事業を進めている。こうした取り組みと関連づけながら、ふるさとゾーンの豊かな自然や歴史、景観などの観光資源を有効に活用するとともに、地域拠点の整備を進め、交流人口の拡大と地域経済の活性化につなげていくことが重要であると考え、次の項目を問う。

１　山北開成小田原線の整備に向けた町の考えと今後の見通しは。
２　ふるさとゾーンの観光資源の活用と地域拠点の整備策は。
３　交流人口の拡大と地域経済の活性化に向けた具体的な施策は。